

評価結果に対する普及指導計画（活動）の改善方向

普及活動外部評価委員の皆様におかれましては、外部評価および評価委員会で時間をかけて評価をしていただき、誠にありがとうございました。

評価委員の皆様からのご意見を踏まえ、本年度及び令和2年度以降の普及指導活動の体制や方法、また、外部評価の実施方法等について改善に努めてまいります。

主な評価結果と改善方向は次のとおりです。

項目	評価結果	今後の改善方向
普及指導活動の体制	<ul style="list-style-type: none"> ○少ない職員数の所属もあるが、効率的に普及するため地域と連携して取り組んで欲しい。 ○所内研修はテーマをよく考えて行われている。各所属で職員に必要な研修は違うので、引き続き工夫して実施して欲しい。 ○世代交代の時代に入ってきている。ICTを活用するなど技術を伝承して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○関係機関との連携を引き続き密に取り活動を行う。 ○所属の課題に合致したテーマを選定し、引き続き所内研修を実施する。 ○トレーナー体制を活用し、先輩普及指導員との連携も強化するなど所属全体で新任者を育成する。 ○クラウド活用による他所属との情報共有など技術の伝承に努める。
普及指導活動の計画	<ul style="list-style-type: none"> ○担い手確保は喫緊の課題である。関係機関と連携し支援して欲しい。 ○新規就農者だけでなく、ベテラン生産者の研修に対する意識改革にも力を入れ、研修会や講演会の参加者を増やす。 ○コロナ禍で消費者ニーズの変化により、ブランド化や生産量の増加など目的が変化している。柔軟な対応が必要であり、施策の方向転換などに即した普及課題を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続して関係機関と連携し支援していく。 ○部会等を通じて幅広く情報提供をしていきながら参加をすすめていく。 ○地域の現状を分析し、時勢にあった課題や対象を選定し課題解決を図っていく。

項目	評価結果	今後の改善方向
普及指導活動の計画	○目標値は必ずしも高くなくて良いが、目標設定の根拠をしっかりと示す。	○チーム会、普及計画ヒアリング等で農業革新支援専門員を交えて協議し、現状把握に基づいたわかりやすい目標を設定する。
普及指導活動の成果	<p>○スマート農業に関連した指導が実施され始めている。今後、新規就農者受入れや高齢者対策等の課題でも活用が必要と思われる。</p> <p>○活動実績の結果は、次の計画に活かすことができるよう要因を分析する。</p> <p>○普及活動は、成果が現れるまで時間のかかる仕事である。関係者以外には成果がわかりにくい部分もあるので、日頃から活動をPRすること。</p>	<p>○タブレットなどのICT技術を活用した現地指導について、より効果的にすすめるため通信環境条件を整備し、多様な対象に対応していく。</p> <p>○チーム会で定期的に進捗状況を確認、分析するとともに、普及活動中間検討会、普及計画ヒアリングで農業革新支援専門員と協議する。</p> <p>○新聞、ホームページ等のメディアを活用し、普及活動を広くPRしていく。</p>
外部評価に対する意見	○コロナ禍のため開催時期や方法、参加範囲を調整するなど、安全に配慮して外部評価を実施した。	○コロナ禍の状況に応じて、安全に配慮した現地調査の実施について検討する。
その他	○農業振興センターは親身になって相談にのってくれている。普及の仕事は農家に頼られる存在であることがわかった。	